

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

＜圏域内の市町が抱える地域課題や大学等に期待する取組＞

区分	テーマ	地域課題の概要
⑥観光資源の共同開発・PR	体験型修学旅行の受入拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・単独市町で体験から宿泊まで受け入れることが困難であるため、複数市町で連携して受け入れるツアーを造成していく必要がある。 ・圏域内の豊富な地域資源を生かした、広島広域都市圏ならではの体験プログラムを新たに開発していく必要がある。 ・民泊を受け入れている地域では、高齢化等による受入先の減少が課題となっている。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
東広島市	本市では修学旅行の誘致や受入に関する取組を積極的に進める事ができていない。	体験型修学旅行の事例紹介など、全国的なトレンドについて研究し、市町の魅力を踏まえた効果的な取組を提案していただきたい。
江田島市	コロナ禍を経て、受入家庭の減少が顕著であり、学校のニーズに対応できていない。担い手不足などにより、カキウチ体験などの本市らしい体験プログラムが実施できていない。	若者が「受入したい」と思えるような魅力発掘やPR方法を検討していただきたい。本市にしかない体験プログラムを大学生の視点から造成していただきたい。
海田町	町単独での実施は難しい（資源が乏しい、民泊受入先の確保）。	近隣市町とのパッケージによるプログラム等を提案していただきたい。
周防大島町	高齢化等による民泊受入先の減少が課題となっている。また、豊富な地域資源を生かし、他地域には無い体験プログラムの造成が求められている。	高齢化により民泊受け入れ先が減少しつつある中で、新たな受け入れ家庭を確保するための体験プログラム等の提案をしていただきたい。
上関町	離島探索、磯遊び、地引網漁、漁獲体験等、体験プログラムを推進しており、自然体験型プログラムや歴史文化体験プログラムの仕組みづくりを検討しているが、体験型修学旅行の受入体制は整っていない。	体験型修学旅行の受入拡充のために、豊かな自然等の地域資源を生かし、広島広域都市圏ならではの新たな体験プログラムを検討していただきたい。
浜田市	浜田ツーリズム協議会会員数は増えている。県外からの団体を受け入れるなどの実績があるが、専任での窓口となる人材がいない。	受入先と希望団体等との連絡・調整の窓口となる人材を継続的に確保するための仕組みづくりについて検討していただきたい。
邑南町	高齢化により、民泊受入先の減少で受入が困難となっている。	体験プログラムの造成を含め、民泊を利用しない形での体験型修学旅行の受入について検討していただきたい。